



事業番号	15 05 02	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	特別支援学校体制整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課		
		実施期間	S24 ~	E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標							
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進						

1 現状と課題

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒にとって、安全・安心な教育環境を確保する。 ○スクールバスを計画的に配備することにより、児童生徒の通学の安全と利便性を確保し、保護者等の送迎負担を軽減する。 	
これまでの取組	○施設計画整備、スクールバスの配備など	
令和3年度の点検結果・現状分析	課 題 <ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化に対応した補修等による学校施設の維持保全と施設の長寿命化及び教育環境の向上が必要となっている。 ・特別支援学校整備基本方針に沿って必要性の高い学校から国の特別支援学校設置基準を踏まえつつ、順次抜本的な整備を実施する必要がある。特に老朽化の進む松本養護学校及び若槻養護学校においては早急な対応が必要である。 ・スクールバス利用希望に対応できる体制を継続する必要がある。 	今後の方向性 <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している施設の修繕及び改修のほか、トイレの洋式化及び多目的化等にも引き続き積極的に取り組んでいく。 ・特別支援学校整備基本方針及び松本養護学校・若槻養護学校の整備基本方針に基づき両校のZEB・デザイン基本計画の策定を進める。 ・スクールバス利用者を把握し適切に増車等の対応をするとともに、安全な運行のため計画的にバスの更新を進める。

2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 特別支援学校施設計画整備事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・中長期修繕・改修計画に基づき学校生活維持に必要な不可欠な修繕・改修を10か年(R3~R12)で計画的に実施 ・令和4年度の整備予定56箇所 ✓ トイレ整備事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・各特別支援学校において洋式化率80%以上、多目的化率20%以上の達成を目指し、令和元年度から5年度まで計画的に整備 ・令和4年度の整備予定15箇所(洋式化9箇所、多目的化6箇所)、目標達成10/18校 ✓ 児童生徒の通学保障に対応するスクールバスの配備 <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス利用希望者数に対応するための増車(2台) ・感染症対策として、重症化リスクの高い児童生徒を対象にジャンボタクシー等を利用した増便 	 トイレの洋式化	 ジャンボタクシーを活用したスクールバスの運行
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに関する取組	特別支援学校整備事業で、児童生徒が安心して快適な学校生活を過ごすことができるよう、緊急に修繕が必要な箇所及び学校環境の改善のために必要な箇所について修繕・改修を実施することにより、学びの県づくりを推進		

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値
1	計画に位置付けた修繕・改修の各年度における実施率	%	-		-		5.9	8.6
2	トイレの洋式化率	%	78.6	↑	82.4	↑	84.1	85.8
3								
4								
5								

事業コスト	区分(単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	前年度繰越	27,643	96,674	
	当初予算	1,163,428	1,501,852	要求 1,608,039 予算案
	補正予算			
	合計(A)	1,191,071	1,598,526	要求 1,608,039 予算案
	うち一般財源	521,835	1,052,899	要求 943,847 予算案
決算額(B)	724,783			
職員数(人)		3.13	3.13	

設定理由	成果指標	1.校舎や設備等の部分的な修繕は、計画的に着実に進める必要があるため。 2.洋式トイレの数が不足し、必要ときに使用できない状況が生じており、和式トイレの洋式化・多目的化が必要なため。
	目標値	1.中長期修繕・改修計画において、10か年で185箇所を整備することが長期目標。そのためR4年度は、5箇所(8.6%)を目標とする。 2.特別支援学校トイレ環境整備事業における計画において、R5年度までに87.5%とすることが長期目標。そのためR4年度は、85.8%を目標とする。

事業番号	15 05 02	事業改善シート (令和4年度実施事業分)	<input checked="" type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検			
事業名	特別支援学校体制整備事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
1	給与費等	44,238 千円	59,817 千円	要求 59,918 予算案 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	特別支援学校教員業務支援員(スクールサポートスタッフ)配置事業	直接	特別支援学校に特別支援学校教員業務支援員(スクールサポートスタッフ)を19人分配置し、教員の負担を軽減		
2	盲・ろう学校非常勤講師等配置事業	直接	盲学校に非常勤講師2人を任用し、教育カリキュラムを充実		
3	視覚・聴覚障がい児早期教育支援事業	直接	早期支援指導員と早期教育相談員を4人ずつ配置		
4	研修等代替非常勤講師配置事業	直接	研修代替非常勤講師を2人任用		
5	特別支援学校妊娠教職員母性保護事業	直接	体育代替非常勤講師及び養護教諭非常勤講師、学級担任補助員、寄宿舎指導員宿直代替員の配置		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
2	特別支援教育推進指導事業	202,922 千円	311,094 千円	要求 293,592 予算案 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	学校管理運営事業費	直接	タブレット端末等ICT活用教育の推進、ICT環境整備、1人1台環境整備の加速、遠隔教育の推進、ICT機器の設定や操作研修等を実施するGIGAスクールサポーターを派遣、通信回線の追加整備、遠隔パソコン文字通訳システムを活用し、県立高等学校に在籍する聴覚に障がいのある生徒への授業における情報保障等を推進		

事業名	特別支援学校体制整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課
-----	---------------	----	----------	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
3	就学奨励事業	318,608 千円	366,310 千円	要求 361,382 予算案 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	特別支援教育就学奨励費事業費	直接	特別支援学校に通う児童生徒の保護者に対する就学奨励費の支給(国負担1/2)	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
4	特別支援学校整備事業	168,513 千円	346,578 千円	要求 505,088 予算案 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	特別支援学校施設計画整備事業	直接	施設整備→16校、56か所で実施 トイレ→2校9か所で洋式化、2校6か所で多目的化を実施	
2	松本・若槻養護学校施設整備事業	直接 委託	松本養護学校・若槻養護学校の施設整備	
3	松本ろう学校施設機能拡張事業	直接 委託	松本ろう学校・寿台養護学校松ろうキャンパスの中央廊下の改修整備	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
5	特別支援学校運営費	118,815 千円	269,969 千円	要求 388,059 予算案 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	学校評議員設置事業	直接	地域住民や保護者などを学校評議員として委嘱し、学校運営や学校自己評価についての助言を得る。	
2	通学バス・公用車整備事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス3台を更新 ・スクールバス1台を新規リース、1台を新規購入 ・感染症重症化リスクの高い児童生徒等を対象とした、ジャンボタクシー等の利用によるスクールバスの増便 	
3	特別支援学校学習環境整備基金事業	直接	基金運用益の利子を受け入れ、基金に積み立て、運用益で図書を購入	